

東北学院中学校・高等学校だより

LIFE LIGHT LOVE

2024.3.29

vol.6  
(2月・3月号)

東北学院中学校・高等学校の日々を紹介します。「LIFE LIGHT LOVE」は「命・光・愛」を指す本校のスクールモットーです。



## 最後の男子学年 卒業生、巣立つ

卒業おめでとうございます

3月1日(金)に高校生299名、3月19日(火)に中学生131名の卒業式が行われました。本校の男子のみの卒業生で行われる最後の卒業式を、立派な姿で終えることができました。中学生、高校生ともにそれぞれの進路に向け、本校での学びを糧に巣立っていきました。

### 高校卒業式(3月1日)

299名

学業成績優秀者 27名  
3ヶ年皆勤・精勤者 44名  
月浦賞(中高6ヶ年皆勤者) 22名  
委員功労者 60名  
生徒会活動功労者 27名  
特別表彰(部活動上位大会出場者) 6名  
日本私立中学高等学校連合会長賞 1名  
奨学会長賞 1名  
郡山英語賞 1名



### 中学校卒業式(3月19日)

131名

学業成績優秀者 21名  
3ヶ年皆勤・精勤者 17名  
委員功労者 24名  
生徒会活動功労者 14名  
特別表彰(部活動上位大会出場者) 8名  
日本私立中学高等学校連合会長賞 1名  
奨学会長賞 1名



## 中学3年生 卒業研究

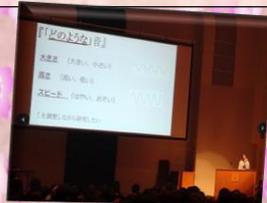
2月9日の学年での卒業研究発表を経て、2月16日に卒業研究全体発表が行われました。生徒が自身の興味のある分野について調べたことをまとめ、スライドを作成し発表しました。

### 一卒業研究テーマ一覧一

- 1「暗記の効率的な方法と  
時間経過による記憶の定着」
- 2「ヒョウモントカゲモドキの  
学習能力について」
- 3「増量と減量」
- 4「日本に住み続けられるのか？  
(住み続けるべきなのか?)」
- 5「音の高さによる目覚めの良さ」  
～朝さっぱり起きるための音とは～
- 6「人と他の生物の磁場感覚」
- 7「睡眠の長さによってパフォーマンスは  
どの程度変わるのか」
- 8「クラフトコーラを土台に飲み物を開発する」
- 9「プロレス業界の現状とこれから」  
～元気があれば何でもできる～

## リレーエッセイ

## 3L日記



## 2/6 中学1年生 天文台学習 2/9 中学2年生 科学館学習

2月6日に中学1年生が科学館学習へ、9日に中学2年生が天文台学習へ行ってきました。

天文台学習では、プラネタリアム学習や展示学習を行いました。残念ながら悪天候のため望遠鏡を覗くことはできませんでしたが、生徒たちは熱心に学習に取り組んでいました。

科学館学習では、分野別の実験や展示学習を行いました。プラズマが自分の手にくっつきそうになると驚いて手を離したり、皆で手をつなぎ音を発生させたりしました。また、各分野に分かれての実験は、みんな真剣な眼差しで熱心に取り組んでいました。それぞれの学年において授業で学んだことを、これらの体験を通し深めていました。



## 高校卒業生 総代 萱場隆甫

(仙台市立七郷小学校、東北学院中学校出身)

中高6年間を振り返ってみて、私はとても恵まれた環境で生活していたと実感しています。家には、静かに見守ってくれる家族がいました。学校に行けば、ともに競いあったりふざけあったりできる友人がいて、勉強や進路の悩みを相談できる先生方もいました。東北学院での生活はかけがえのない経験になったと思います。

私が中高6年間を通して、心がけてきたことは全力を出し続けることです。日々の学習や生徒会活動、研究活動など、辛い時期もたくさんありましたが、何とか折れることなく全力を尽くすことができました。きっと、諦めて投げ出すこともできたと思います。しかし、そうしなかった結果として、私は以前から叶えたかった夢を実現することができました。それらの一つでも疎かにしていたら、実現できなかったと思います。これからも東北学院で生活する在学生の皆さんにもどうか悔いの残らないように、どんなことにでも全力を出し続けてほしいと願っています。



## 中学校卒業生 答辞

### 高橋 凌志

(東村山私立南台小学校出身)

改めまして卒業式の挙行に携わって頂いた先生方、私達の旅立ちを祝福してくれた保護者の皆様並びにご来賓の皆様、本当にありがとうございました。今回の卒業式は自分たちにとって“初めての卒業式”となり、とても緊張していましたが、無事終わることができて心の底からホッとしています。至らない部分もあったとは思いますが、最後の男子学年の卒業生として、少しでも皆様の記憶に残る、立派な姿を見せられていたらいいなと思います。



## 今月の聖句 3月

恵み深い主に感謝せよ 慈しみはとこしえに。